



# 社内標準

(技術標準)

管理基準：一般顧客用

日本エー・エム・ピー株式会社

## 取付適用規格

Application Specification

114-16007-1

AMP VMT コネクタの結線条件

VMT Connectors

### 1. 適用範囲

本規格は、AMP VMT (縦形多数結線) アセンブリの結線条件について規定する。このアセンブリは絶縁体のハウジング付きのフレキシブル・フラット・ケーブルに圧着されるVMTリセプタクル・コンタクトからなり、その上部挿入口または下部挿入口から0.64 mm (.025 in) 角形ポストと嵌合される。

### 2. 適用規格類

下記の規格類は本規格に規定する範囲においてその一部を構成する。

#### 2.1 一般商業規格類

I PC-FC-220 : 無シールド平形芯線フラット・ケーブルに関する規格

### 3. 各部の名称

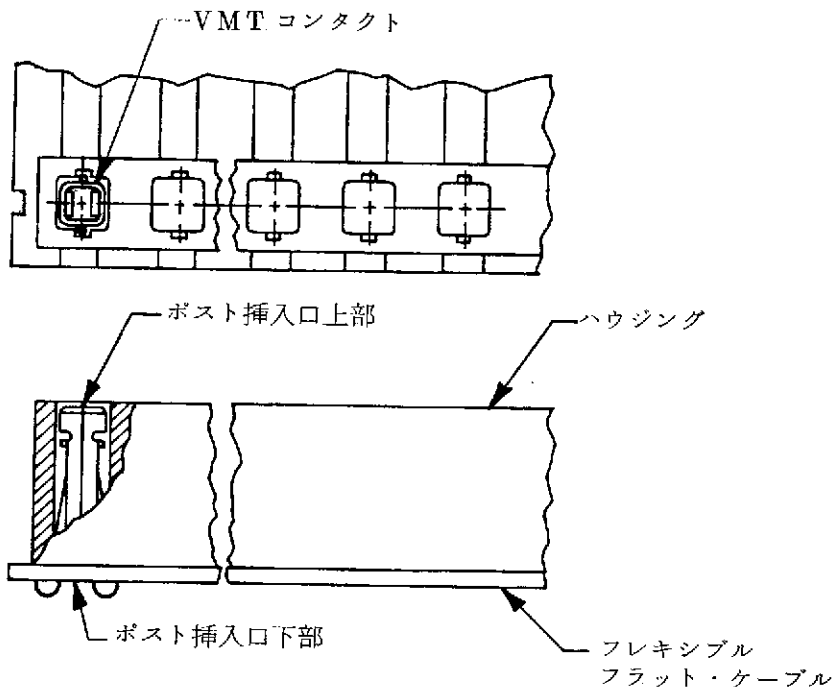


Fig. 1

				作成： <i>[Signature]</i>	分類： 取付適用規格 Application Specification
				検閲： <i>[Signature]</i>	コード： 114-16007-1
	EC 0990-1290-98	11.11.'98			改訂 B
B	Revised per 4Z-548				
A	改訂			承認： <i>[Signature]</i>	名称： AMP VMT コネクタの結線条件
改訂	改訂記録	作成	検閲	承認	年月日

## 4. 必要条件

## 4.1 ケーブルに関する必要条件

## A. 寸法

フレキシブル・フラット・ケーブルは、IPC-FC-220、公差クラスMの必要条件に合致すること。

B. コンタクトは下記必要条件に合致するケーブルに使用するように設計されている。

- (1) 芯線サイズ： $1.57 \pm 0.08$  (.062 ± .003) 幅 ×  $0.064 \sim 0.089$  (.0025 ~ .0035) 厚さ
- (2) 芯線間隔： $2.54$  (.100) 以上
- (3) 芯線間隔公差： $\pm 0.13$  (.005) 非累加公差
- (4) ケーブル厚さ： $0.33$  (.013) 以下
- (5) 芯線の数： $2.54$  (.100) 中心線間隔または  $91.4$  (3.60) 最大ケーブル幅の場合 35本以下
- (6) 材料：IPC-FC-220、表-1から選定すること。
  - (a) タイプA：不均一系自己消火性ポリエステル
  - (b) その他のケーブル

コンタクトが第4.1.B項に記載されているケーブル以外のもに使用する場合は、AMP技術部に連絡すること。

## 4.2 ケーブルの準備

A. ケーブルの準備は端縁取付コンタクトの場合、Fig.2に準拠して行うこと。

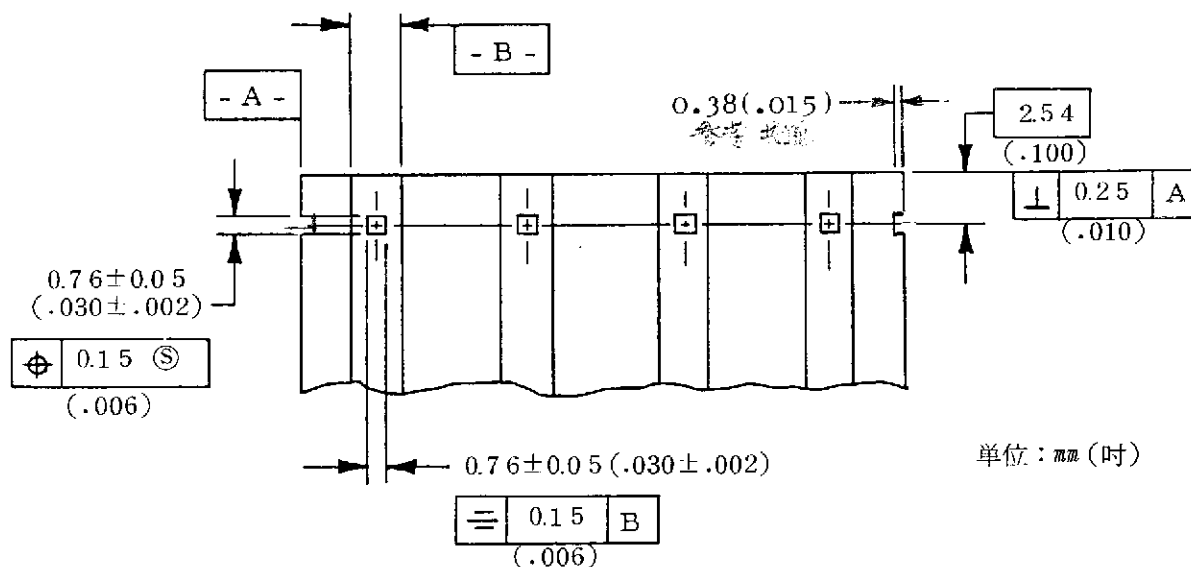


Fig. 2

- B. ケーブルの準備は、ケーブルの端縁以外の位置にコンタクトを取付ける場合には、Fig. 3 に準拠して行うこと。

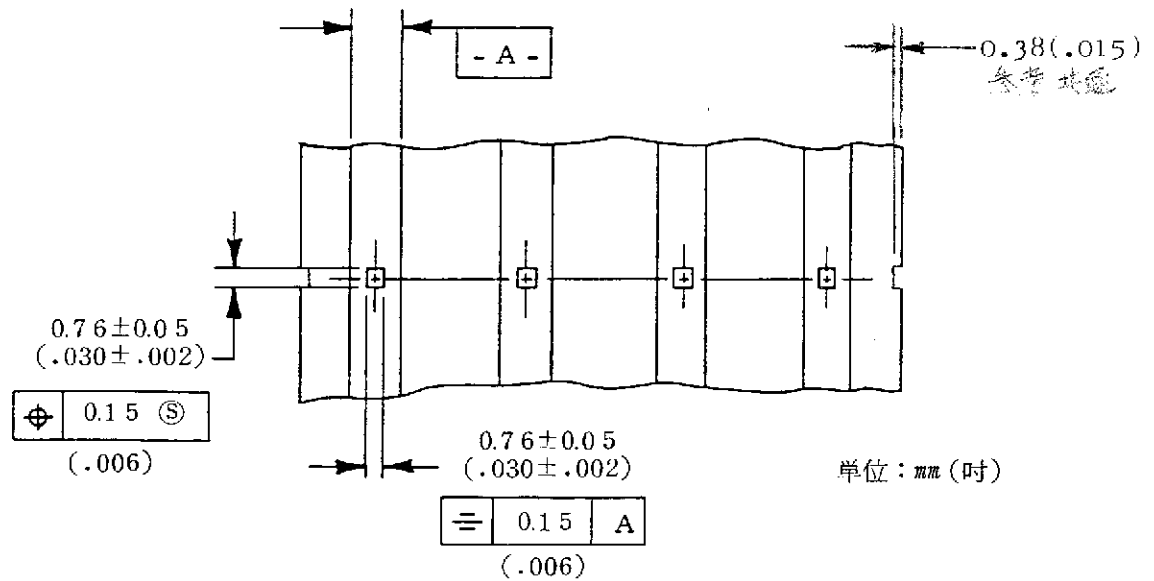


Fig. 3

#### 4.3 コンタクトの結線

ケーブルに取付けられるコンタクトは Fig. 4 の必要条件に準拠すること。

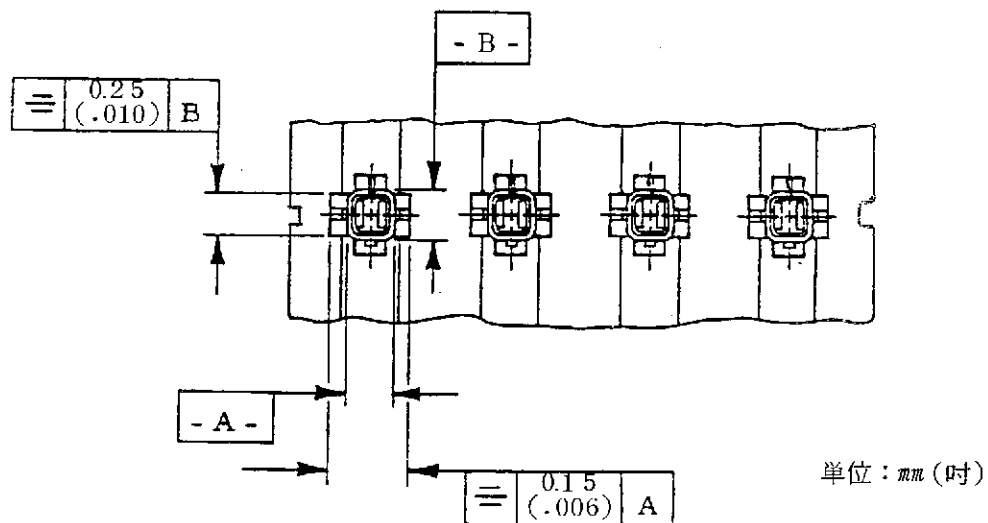


Fig. 4

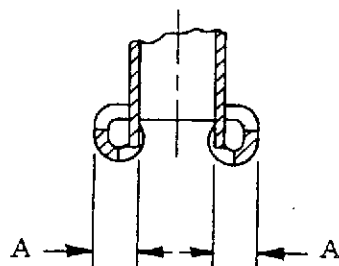
分類：	標準の名称：	標準のコード：	改訂
取付適用規格	AMP VMT コネクタの結線条件	114-16007-1	3 頁
			B 6 頁中

#### 4.4 裂片(スリパー)

コンタクト胴部の中心線が正確に芯線中心線上にない場合、銅芯線の裂片が発生するかもしれない。遊離した裂片は除去して電氣的短絡が生じないようにすること。圧着後の手順として、遊離した裂片を真空掃除機で除去し、補助用具を使用しないで圧着部を目視検査して、電氣的短絡を引き起す可能性のある裂片の皆無を確認することを推奨する。

#### 4.5 圧着部形状

圧着工具の芯合せは、芯線をセットしないでコンタクトを圧着して行うこと。芯線なしで圧着したターミナルは、Fig. 5に示す形状を有すること。



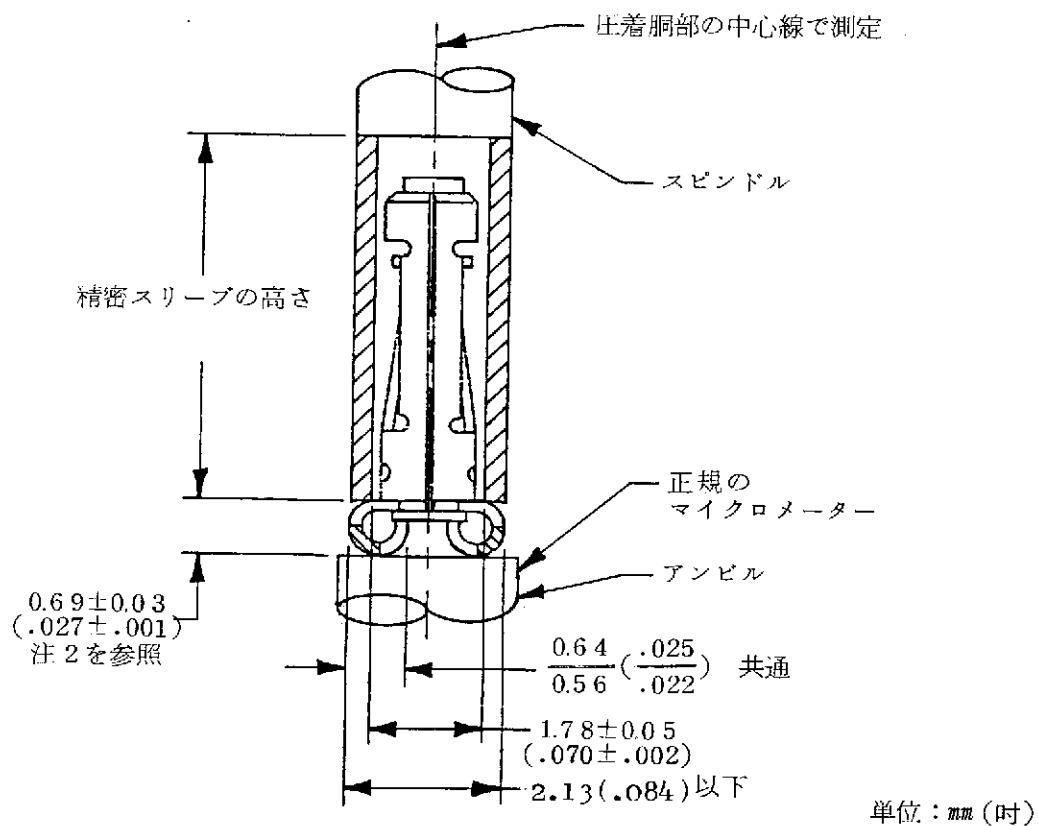
注：A-Aの対称度は0.08(.003)以内であること。

Fig. 5

#### 4.6 圧着高さおよび圧着幅

圧着部の高さおよび幅の測定は、圧着部の外側に押出された絶縁被覆を全部除去した後、Fig. 6に示すように十分芯線の芯合せをして行うこと。圧着高さの測定には、精密スリーブ付きの正規のフラット・マイクロメータを使用すること。

- A. 圧着高さの測定は、十分に芯合せしたコンタクトの中心線上で行い、またその高さは Fig. 6 に示す限界内にあること。
- B. 圧着幅の測定は、その圧着胴部の全長にわたり Fig. 6 に示す限界をこえないこと。



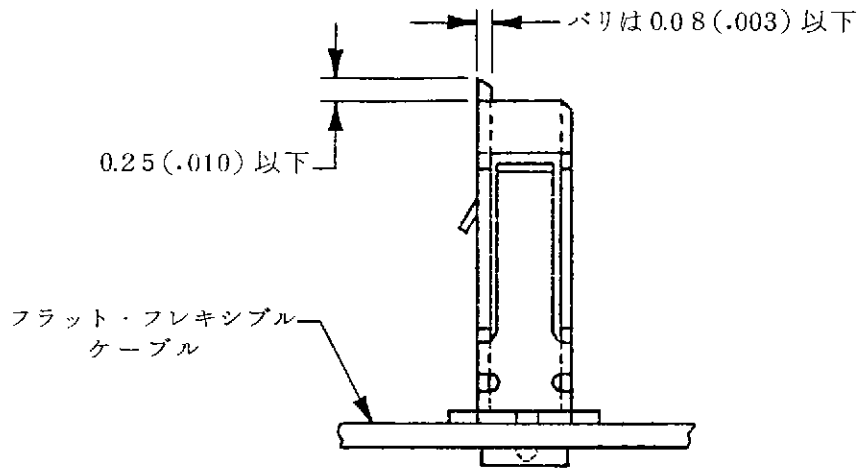
(注)

1. 指示されている圧着高さは、第 4. 1. B 項の寸法条件に合致するケーブルのみに適用する。
2. 圧着高さは、総合測定値から精密スリーブの高さを差引いたものに等しい。

Fig. 6

## 4.7 コンタクトの切断タブとバリ

コンタクト端末からの切断タブの長さおよびバリの大きさは、Fig. 7 に示す寸法以内に管理すること。



単位：mm (吋)

Fig. 7

## 4.8 圧着製品の仕上り

圧着されたコンタクトおよびケーブルの圧着部は、両側から十分注意して検査し、本規格の必要条件に合致していることを確認すること。アセンブリには、亀裂または裂けの徴候がないこと。